

平成28年度夏期文部科学省インターンシップ受入れ計画

受入れ局課室名	科学技術・学術政策局 政策課 資源室				
募集学校種	<input checked="" type="checkbox"/> 大学院 <input type="checkbox"/> 高等専修学校	<input checked="" type="checkbox"/> 大学 <input type="checkbox"/> 高等学校	<input checked="" type="checkbox"/> 短期大学 <input type="checkbox"/> 中学校	<input type="checkbox"/> 高等専門学校 <input type="checkbox"/> 問わない	<input type="checkbox"/> 専門学校
受入れ期間	7月 11日～ 9月 16日 (上記期間中に1人につき、2～4週間)			受入れ人数 (期間内の合計受入れ数)	4人～6人
受入れ条件	栄養学、調理学、食物学等について学んでいる方。				
実習内容	<p>資源室では、「日本食品標準成分表」を所管しており、昨年12月に改訂をしたところです。次期改訂に向けて政策の課題整理をするだけでなく、改訂後も根拠データの整理など膨大な作業も残り、まだかなり動きがあるところです。当室の実習内容は、成分表改訂に関わる業務が中心のため、広く科学技術を学びたい方には適していないものと思われますが、これら改訂後の実務に携わって頂くことで、政策と実務の関係性が実感でき、食品の栄養成分及び栄養表示等に少しでも興味をもって頂くことを期待しています。</p> <p>具体的な体験内容については、参加者の希望に沿って計画します。</p>				
受入れ局課室紹介	<p>日本食品標準成分表の次期改訂のポイントのとりまとめなどが主な業務となります。現在は、昨年行った改訂の際に明らかになった課題等の整理及びその方向性に基づき、既収載食品の成分値のデータ整理及び新規収載食品の選定等を専門家の意見を伺いながら行っています。</p> <p>【業務】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○成分表の次期改訂のための食品成分委員会等の開催 ○過去の成分値等のデータ整理 ○改訂時に掲載すべき食品の選定 ○利用しやすいデータベースの構築 				
受入れ局課室からのひと言	インターンシップ参加への意欲がある積極的な方からの応募をお待ちしています！！				
過去の参加者の声	日本食品標準成分表の広報資料を作成させていただくことができ、自分の感じることや伝えたいことを表現することができた。インターンシップ中に、より多くの事が学べるよう、様々な経験や見学の機会を作って下さり、充実したインターシップになった。				

平成28年度夏期文部科学省インターンシップ受入れ計画

受入れ局課室名	科学技術・学術政策局 人材政策課				
募集学校種	<input checked="" type="checkbox"/> 大学院 <input type="checkbox"/> 高等専修学校	<input checked="" type="checkbox"/> 大学 <input type="checkbox"/> 高等学校	<input checked="" type="checkbox"/> 短期大学 <input type="checkbox"/> 中学校	<input checked="" type="checkbox"/> 高等専門学校 <input type="checkbox"/> 問わない	専門学校
	(○がマークされている部分が希望学校種となります)				
受入れ期間	9月 5日～ 9月16日 (上記期間中で1人につき、2週間)			受入れ人数 (期間内の合計受入れ数)	1人
受入れ条件	<ul style="list-style-type: none"> ・文部科学行政(特に科学技術)に関心のある方 ・基本的なパソコン操作ができること 				
実習内容	<ul style="list-style-type: none"> ・研究者及び技術者の養成及び資質の向上に関する各種業務 ・科学技術に関する知識の普及並びに国民の関心及び理解の増進に関する各種業務 ・国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)の組織及び運営一般に関する各種業務 等 <p>※具体的な内容は応募者の希望と実習日程によって設定します。</p>				
受入れ局課室紹介	<p>少子高齢化・人口減少が急速に進む中、我が国が科学技術の力で世界をリードするためには、その担い手となる人材を養成し、社会において広く活躍を促進することがとても重要な課題となっています。そのため、人材政策課では、先進的な理数教育を実施する「スーパーサイエンスハイスクール」への支援など理数教育の充実や、キャリアパスの多様化促進、若手・女性・外国人研究者など多様な人材が能力を最大限発揮できる環境の整備を通じ、中高生から第一線の研究者・技術者に至るまで、科学技術関係人材の質的・量的な充実に向けた連続性をもった取組を総合的に推進しています。また、最先端の科学技術を発信する「日本科学未来館」の運営など、科学と社会の架け橋となる科学コミュニケーションの推進にも取組んでいます。</p> <p>このほか、科学技術基本計画の中核的実施機関として、知の創造から社会還元とその基盤整備を一体的に推進し、イノベーションの創出を支援する国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)の評価等に関わる業務を行っています。</p> <p>次代の科学技術を担う人材の育成と若手研究者を巡る環境の整備や、国立研究開発法人の評価等について、国がどのように考え、そしてどのように取り組んでいるのか、日本の科学技術・学術政策の最前線を体験することができます。</p> <p>人材政策課の業務を行っていく上で、重要なのは、現状についての問題意識と、前向きに取り組む姿勢です。皆さんと日本の未来について共に考え、そして共に成長できることを楽しみにしています。</p> <p>※ポストドクターの皆様の応募もお待ちしております！</p> <p>(関係ホームページへのリンク) <input checked="" type="radio"/> 科学技術・学術関係人材の養成・確保 <http://www.mext.go.jp/a_menu/02_b.htm> <input checked="" type="radio"/> 国立研究開発法人科学技術振興機構 <http://www.jst.go.jp/> <input checked="" type="radio"/> 日本科学未来館 <http://www.miraikan.jst.go.jp/></p>				
受入れ局課室からのひと言	人材政策課の業務に関心があり、意欲のある積極的な方の参加を歓迎します。				
過去の参加者の声	各係の業務を体験したため、課全体の業務内容を体感できた。また、課題に対してフィードバックを毎回くださった。行政の現場を体感できて、将来の職業選択をする上で非常に重要な情報が得られた。				

平成28年度夏期文部科学省インターンシップ受入れ計画

受入れ局課室名	科学技術・学術政策局 研究開発基盤課						
募集学校種	<input checked="" type="checkbox"/> 大学院 <input type="checkbox"/> 高等専修学校	<input checked="" type="checkbox"/> 大学 <input type="checkbox"/> 高等学校	<input type="checkbox"/> 短期大学 <input type="checkbox"/> 中学校	<input type="checkbox"/> 高等専門学校 <input type="checkbox"/> 問わない	<input type="checkbox"/> 専門学校		
受入れ期間	8月 29日～ 9月 9日 (上記期間中で1人につき、2週間)		受入れ人数 (期間内の合計受入れ数)		1人		
受入れ条件	エクセルVBA経験者の優先配置を希望						
実習内容	<ul style="list-style-type: none"> ・先端的な研究基盤の充実・強化に関する事務・企画立案体験 ・先端的な研究基盤の在り方について議論する外部有識者会議の運営に係る各種業務 ・各種資料の作成・整理、資料印刷等の補助業務 						
受入れ局課室紹介	<p>研究者の創造的・独創的な研究開発活動による世界最先端の成果創出には、先端的な研究施設・設備や基盤技術・機器等の研究開発基盤の強化が必要不可欠です。このため、以下のような施策により、イノベーションを支える研究開発基盤の強化を進めています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研究組織のマネジメントと一体となって研究設備・機器を整備・運営する共用システムの検討、研究施設・設備間のネットワーク化によるプラットフォーム形成 ・共通基盤技術である先端的な計測分析技術・機器の開発・普及や光・量子科学技術に係る研究開発・利用研究の推進 <p>【具体的な業務】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最先端の研究設備・機器の研究開発に関する業務 ・最先端の研究設備・機器の共用を促進するプラットフォーム構築に関する業務 						
受入れ局課室からのひと言	インターンシップを通じて文部科学省での仕事に対するイメージを具体的に持っていただけると思います。エクセルVBAが使用できる方には、より高度な政策立案インターンシップをご経験いただけます。意欲のある皆様のご参加をお待ちしております。						
過去の参加者の声	会議の準備や傍聴を通じて政策決定プロセスの一端を肌で感じることができた。ホームページの修正について提案し、職員の方と意見交換を行ったことで、社会人になるための自らの不足部分や短所を発見することができた。						

受入れ局課室名	科学技術・学術政策局 産業連携・地域支援課						
募集学校種	<input checked="" type="checkbox"/> 大学院 <input type="checkbox"/> 高等専修学校	<input checked="" type="checkbox"/> 大学 <input type="checkbox"/> 高等学校	<input type="checkbox"/> 短期大学 <input type="checkbox"/> 中学校	<input type="checkbox"/> 高等専門学校 <input type="checkbox"/> 問わない	<input type="checkbox"/> 専門学校		
受入れ期間	7月11日～9月16日 (上記期間中で1人につき、2週間)		受入れ人数 (期間内の合計受入れ数)		2,3人程度		
受入れ条件	特になし						
実習内容	具体的な業務内容については、参加者の希望等を考慮して計画します。 (当課で関心を持った業務等について、HP等を参考に具体的に記入してください。)						
受入れ局課室紹介	<p>概要:産学官連携システムの構築や大学等の研究成果の実用化等により、科学技術イノベーションを創出し、広く社会・国民へ還元する取組を実施しています。例えば、以下のような業務を行っています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産学官連携施策の企画・立案、実施 ・大学等における知的財産施策(特に特許関係)の企画・立案、実施 ・大学等から企業への技術移転の促進に係る施策の企画・立案、実施 ・大学発ベンチャー創出・支援施策の企画・立案、実施 ・産学連携研究開発拠点の構築に係る施策の企画・立案、実施 ・科学技術による地域活性化施策の企画・立案、実施 						
受入れ局課室からのひと言	上記業務のうち一つでも興味があれば、是非ご応募下さい。意欲のある積極の方の参加を歓迎します。(専門的な知識や技術は必要ありません。)						
過去の参加者の声	職場の方々が前向きに仕事をされていて課全体が明るい雰囲気だった。また、有識者ヒアリングやイベントへの参加等普段経験できないようなものに参加でき、充実したインターンシップ期間となった。						